

2025年5月1日発行

第41号

令和7年

東都岩高会報

発行所

長野県岩村田高等学校同窓会関東支部

東都岩高会

〒106-0045 東京都港区麻布十番 4-3-1-1081

TEL : 03-3451-2298

Email : 7249lece@jcom.zaq.ne.jp

東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックを目指す 同窓のSC軽井沢クラブの若きカーリング選手たち

詳細は7ページをご覧ください。



©SC軽井沢クラブ2024-2025

上野 美優さん(令和元年卒)



©SC軽井沢クラブ2024-2025

上野 結生さん(令和3年卒)



©SC軽井沢クラブ2024-2025

山本 遵さん(令和7年卒)

東都岩高会 総会 & 懇親会開催



● 2025年6月22日(日)

11:00~受付開始 11:30~開会

● 銀座ライオン

7丁目店6Fクラシックホール(銀座シックス隣)
中央区銀座7-9-20 電話03-3571-2590

● 会費: 8000円

学生(専門学校、予備校含む)は無料

同封のハガキでお申込み下さい。尚、学生は下記のお問い合わせ先へ。(～6/10迄)
会費は当日受付でお支払い下さい。

- 講演: 柳沢正人様(昭和49年卒・日本画家)
- 総会: 2024年・2025年の報告・承認・審議
- 懇親会: 美味しいビール(未成年はノンアル)と料理を愉しみながら、懐かしい顔や新たな出会い! 先輩・後輩・先生等が入り交じり交歓の輪で盛り上がり♥

お問合せ等: tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp

小林 080-7021-3097

田中 090-7171-8441



2025年 秋の散策

横浜三溪園と中華街 で秋を楽しむ会

開催日 11月11日 火曜日

会費 ¥5000- 交通費 実費

横浜駅東口バスターミナル

9:45集合 10:00発乗車

国 名勝 秋の三溪園散策と
中華街で本場の料理を堪能



■申込は
役員もしくは
下記 eメール
tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp

※ 詳しくは本会報のご案内をご覧ください

ご挨拶

東都岩高会会長

小林 裕

(昭和47年卒業／港区在住)



東都岩高会会員皆様には、お元気で
お過ごしのことと存じます。

日頃、当会活動にご協力いただき、
誠にありがとうございます。

岩村田高等学校創立100周年記念
事業は、今年6月の記念誌発行を残し、
記念式典兼コンサート、記念祝賀会等
成功裏に開催されました事、卒業生の
一人として大変うれしく思っております。
在校生、先生方、PTA、同窓会員の
皆様には、お疲れ様でございました。
特に生徒会や、各班と歌手との企画、
絶妙なるコラボは忘れられない思い出
となりました。

東都岩高会では1泊2日のツアーを
組み、100周年記念イベント参加、
ツアー参加者の親睦会開催、二日目は
佐久市立近代美術館見学、同窓会館お
よび母校訪問を行いました。

さて令和2年(2020年)年初よ
り始まった新型コロナウイルスの世界的な感染
拡大は、まだまだ感染防止に注意は必
要ですが、今年も、6月22日(日)「ラ
イオン銀座7丁目店 6階クラシッ
クホール」にて、東都岩高会総会・懇
親会を開催いたします。多数の皆様

ご参加をお願いします。

世界ではロシアによるウクライナ侵
攻は今もなお、他国の兵士を戦場に送
る等その激しさは増すばかりです。ま
た、イスラエルとパレスチナのイスラ
ム組織ハマスとの軍事衝突も、一時的な
停戦とはいえず続いています。また、
複数の国の大統領が逮捕されるなど、
何だかよくわからない世界情勢の中、
米国では4年ぶりの大統領再就任が
1月20日にありました。米国は今後
4年間で、最大約78兆円にもなる人
工知能(AI)開発への投資を行うよ
うです。また現在でもAIは急速にそ
の技術が普及して、怖いぐらいの現状
が身近になっています。ある日本の団
体がテーマを出し、作文やポスターを
公募したところ、そのほとんどがAI
による作品らしいと言うから驚きです。
条件等を入力すると、あっという間に
コンピュータがデータを解析、完璧な
作品を瞬時に作成してしまうようです。
日本国内では、若者の闇バイト応募
による犯罪や、大都市圏を中心とした
特殊詐欺被害額は増える一方です。
「役所の者ですが……」とか、「警察の

者ですが……」と言われれば、つい信
じてしまうのは当然と思います。最近
ではスマホを使った投資詐欺や、ロマ
ンス詐欺まであるというのですら、何
を信じたら良いかわからない時代にな
りました。

「ネットの情報を信じてはだめ」とま
で言われているのですから。

より人間らしく実際に対面で、信頼
できる同窓生同士、また、多様な人生
を経験した方々とゆつくりと交歓しよ
うではありませんか。

ところで「コスパ」と「タイパ」と
いう言葉をご存じでしょうか。コスパ
(コストパフォーマンス)とは費用対効
果のことです。例えば、東都岩高会総
会、懇親会に参加して会費を払い、そ
の金額に見合う価値が得られるか?が
コスパの評価です。

知っている人がいなくて、話ができ
ずつまらなかったという会員がよくお
られます。是非ご自分からも積極的に
声をおかけいただき、そのお相手との
会話や付き合いの中から価値を引き出
してもらいたいと思います。

もう一つ最近若者の間では、タイパ
(タイムパフォーマンス) 時間対効果、
つまり費やした時間に対して、効果や
満足度が得られるかを重視する傾向が
あるようです。タイパの一例としては、
動画の倍速再生があります。東都岩高
会では、コスパもタイパも満たす「愉
しい」総会、懇親会を目指して内容を
企画、検討中です。ご期待ください。

ただお酒を飲んで、おいしいお料理を
食べるだけでは、コスパもタイパも上
がりませんよ。同窓会に集まった先輩
や後輩から、あなたにとって大きな価
値を引き出してください。また来年も
是非参加したいと思えるように楽しま
れることを、役員一同応援します。

最後に私の今年の目標は「遊び」の
時間を作るです。情報過多で私の小
さな脳では処理しきれない時間の中に
気になるスマホをしばし触らず、好き
なことを考える隙間時間を作ること
です。皆さんも総会・懇親会では大いに
話し、遊びのひと時を過ごしましょ
う。もちろん東都岩高会活動に対する
ご意見・ご希望もお待ちしております。
◎令和7年度(2025年度) 東都岩
高会の主な活動は次の通りです。

詳細は、ホームページ(長野県岩村
田高等学校同窓会)をご確認ください。
(必要に応じ、ご案内等適宜掲載し
ております。)

①会報発行 令和7年5月1日(予定)
②総会・懇親会開催 令和7年6月22
日(日)

③秋季イベントの開催(横浜方面を計
画中)

④本校同窓会と連携しての活動

⑤長野県高等学校同窓会東京連合会
(通称・同窓連) イベントへの参加

⑥会活性化(特に女性会員、若手会員
の参加) 推進

⑦会活性化を目的とした会員データの
整備

ご協力よろしくお願いいたします。

「あひがひびわつまつた」

岩村田高校同窓会長

佐々木 正行

(昭和40年卒業／佐久市平賀在住)



東京都岩高会の皆様2024年10月5日創立100周年記念式典及び記念コンサートでは大変お世話になりました。ありがとうございます。又多くの寄付を賜り、計画より少し下回りましたが、計画を修正し無事満足できる100周年記念を終了することができました。

2025年3月1日に卒業証書授与式があり参加しました。創立100周年を経たけじめの年の生徒として、卒業生198名、最終卒業証書番号No.21265号でした。

また第16回目となります同窓会からの「佐藤寅太郎賞」を授与しました。

この賞は今年度様々な面で顕著な活躍をした生徒に対して初代校長であり創設者の佐藤寅太郎先生を記念し、卒業時に授与するものであります。

今回の受賞者は前生徒会役員の5名でした。創立100周年事業に際し、豊かな創造性をもとに様々な企画の検討を重ね記念式典、コンサートを初めとする各事業の成功に対して大きな原動力となりました。また学業に対しても地道な努力を続け「信頼に足る人物

たれ」の精神を実践して来ました。ここに「佐藤寅太郎賞」を授与致しました。片桐楓人前生徒会長、松本陽真同副会長、山田怜奈同副会長、佐藤陽翔副議長、岩崎沙織同副議長の5名です。

今の18歳は私達の時より大人で身体も大きく、入学した3年前の子供らしさから想像がつかないほどです。しかし今迄は親元で生活していました、そこを離れて一人で何もかも判断して行かなければなりません。子供達が困った時の相談相手として東京都岩高会の先輩方のお力を貸して頂きたいと思っています。

101年目のスタートとして同窓会も新しい組織にしていかなければなりません。

私も4期8年間同窓会長を務めて参りました。その中3年間はコロナで活動も止まり、結果として今回の創立100周年のために長期に亘ってしまいました。

今迄の皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

大変有難う御座いました。

ご挨拶

岩村田高校校長

下島 浩伸



東京都岩高会の皆様には、日頃より、母校の教育活動にご支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。加えて創立100周年記念事業につきましては、様々な面でご協力いただき、小林会長様をはじめ会員の皆様とは記念式典等の折に岩高での思い出や母校に寄せる思いを拝聴しお話ししてきましたが、限られた時間の中でもあり学校の近況をお伝えいたします。

本年度は学校行事や各種大会等が通常開催となり、各班が地区大会、県大会で活躍する中、個人・団体の別はありませんが運動班(同好会)では弓道、ソフトテニス、陸上、水泳競技において北信越、全国大会出場を果たし、文芸化班では演劇班が関東、全国大会出場を果たしました。更に2月に開催された全日本カーリング選手権において、本校3年生の山本君がSC軽井沢クラブの一員として優勝するなど、同窓生が所属するチームの今後の活躍が大いに期待されるところでです。

学習面では昨年11月に天下一品講座が開かれ、地域の同窓生の方々に講師に医療や看護、文化、芸術、行政、金

融、工学関係など多岐にわたる専門的分野の講義を受ける機会が設けられました。2月には1・2年生の探究活動成果発表会が佐久平交流センターを会場に開催され、授業担当の先生方がゼミ方式で相談役となり、1年間の取り組みが個人、グループ形式で発表されました。探究テーマの一部を紹介しますと「外来植物の活用法」「色で変わる記憶力」「佐久市に小劇場を建てるには」「繋がる方言」など教科の枠組みを越えて、校内外をフィールドとして取組んだ発表は大変興味深いものでした。その中でも佐久地域の方言を聞き取り、調べた内容をリーフレットにまとめ、それをもとにカルタを制作し高齢者の方々との交流の一助とした取組みは、活動が新聞にも紹介され県内に反響が広がるなど、世代や地域の枠組みを越える成果となりました。

創立百周年を迎え、同窓生と在校生との記念行事や学びを介しての繋がりが深まる中、東京都岩高会の皆様には引き続き本校の教育活動にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

～信頼に足る人物たれ～

生徒の手で企画・運営 式典で見事に花開く
森山良子さんとのコラボ大成功 ありがとう!! (東都から出席して)



吹奏楽部 入場時の演奏

創立100周年記念式典・

コンサートⅡ

文 柏木 慶永

(昭和40年卒業/所沢市在住)

写真 荻原 明

(昭和44年卒業/横浜市在住)



片桐生徒会長



佐々木同窓会長

「ブラボー!!」客席から大きな声援、最後まで拍手は鳴りやまなかった。
2024年10月5日(土)の昼下がりに、場所は佐久市駒場にある長野県立武道館。約1000人に上る全在校生、同窓生、諸先生、PTA、来賓が席を埋めた。岩高100周年記念イベントの幕開けです。

どんな形の記念式典兼コンサートⅡが行われるのか、そしてコンサートⅡの主役である生徒と森山良子さんはこの記念式をどのように盛り上げ

るのか、参加者はワクワクしながら始まりを待ちわびている。そんな気持ちを感じてか、吹奏楽部の素晴らしい音色が会場に鳴り響いた。会場は一気に和やかに。

式典は佐々木正行同窓会長の開会宣言でスタート。校歌斉唱、長野県教育長の挨拶、そして、生徒会長片桐楓人さんの挨拶と、ここまでは決まりの内容で進む。

ところがその後から雰囲気はがらりと変わった。

ステージに表れたのは3年の男子生徒2人仲良くトーク、息はぴったり。でもさすがに緊張しており、若干声も上ずり気味。そこに現れたのが「普段着姿」のゲスト森山良子さん。会場から拍手が一斉に響いた。



生徒二人と森山良子さん登場でトークショー

森山さんはそのトークの上手さ、面白さでも知られる日本を代表する歌手。緊張する司会者にそつと寄り添って「肩の力を抜いて」と、おばあちゃん”のように雰囲気や和らげている。

堅苦しい来賓挨拶など全くなく、会場の生徒とゲストの森山さんとのトークが始まった。4人ほどが質問を投げかけると、森山さんが自らのエピソードを交えて面白おかしく答えた。会場からどつと笑いが起こった。さらにプロジェクトで岩高100年の歩みと、森山さんの歌手人生を組み合わせて紹介するなどなかなか面白い趣向だ。

いよいよ「森山良子コンサート」。普段着から一転、赤いドレスを身にまとった森山さんがステージ中央に進むと、拍手の嵐。デビュー曲「この広い野原いっぱい」で幕が上がり、皆も一緒に口ずさむ。「涙そうそう」、「Ale Ale Ale」、「やっぴんぼ」と持ち歌を披露。そして「今」という曲に移った。この曲は森山さんのデビュー50周年記念として、長男の森山直太郎さんが作詞作曲して贈ったものという。「普段は誕生日でも何もくれないのに・・・」と冗談を言いながらも、感慨を込めて歌った。



ピアノ、ギター伴奏で森山良子さんの熱唱が続く

親子の絆の強さを感じた次第。

続いて見せたのが生徒とのコラボレーション。サイモン＆ガーファンの名曲「明日に架ける橋」。演劇班の3人（男子1人と女子2人）が歌詞を独自にアレンジ、皆に訴える内容として朗読した。長野県下でも認知度が高い演劇班とあって、その声と抑揚は実に素晴らしく、森山さんは生徒に近づき拍手で讃えて、この歌を朗々と歌い上げた。

ところで森山さんは100周年にあたり、生徒たちと一緒にコンサートを作り上げようと力を注いでくれたという。猛暑の7月には森山さんが事務所スタッフと共に岩高を訪れ、実行員会、生徒会、吹奏楽部、演劇班と手作り感をいかに出すかについて話し合い、コンサートのコラボとして何を演奏するかなど綿密に打ち合わせたそうです。

森山さんから「明日に架ける橋」での朗読はどうかとの提案があったという。さらに吹奏楽部とのコラボとして「聖者の行進」を手掛けることとした。ただ、練習はその時一度だけと聞く。多忙な森山さんがコラボの下打ち合わせのために、来校されるなど驚きというほかない。それだけ岩高100周年に気合を入れて



吹奏学部と森山良子さんのコラボ



森山良子さんのトーク

くださったのだろう。
話をコンサート会場に戻そう。
森山さんと吹奏楽部とのコラボは、コンサートのクライマックスで、ジャズ調の「聖者の行進」。白のジャケットに身を包んだ総勢30数人の吹奏楽部が、森山さんを背後から包むように並んだ。指揮の先生のタクトでトランペット、トロンボーンなど管楽器から威勢のいい音が発せられた。それに合わせて森山さんが楽しそうにステップを踏みながら、吹奏楽の生徒たちに手を振り、大いに盛り上げてくれました。参加者も一緒に声を出し、ステージと一体となって手拍子を取りながら体をゆすっていました。



森山良子さんの創立100周年のご挨拶

森山さんの歌声はデビューから58年という歴史の重さを感じるものでした。我々同窓生はこの間、「フォークの女王」と呼ばれた森山さんの歌を聞き、身近なものとして口ずさんできたものです。ただ今の生徒は孫のような世代だけに、森山さんの歌をあまり知らないようです。

そんな森山さんは25年1月に77歳の喜寿を迎えた。それを全く感じさせない声量と身のこなし方を目の当たりにして、生徒たちはただただ感激し、改めて森山良子という歌手の偉大さを知ったのではないだろうか。

いよいよコンサートは終盤に。森山さんは森山直太朗さん（作曲）、御徒町颯（かいと）さん（作詞）によ



「虹」を出席者全員で合唱、会場～ステージまでの全体写真

る「虹」を皆さんと一緒に歌いましょう、と会場に声をかけた。「虹」は100周年記念リーフレットにも載っており、全生徒600人はじめ、参加者による全体合唱が武道館の空気を振動させるほどだった。その姿を見て同窓生の多くが目頭を押さえ、感激の大きな渦を作っていました。

こうして森山さんは「岩高100周年記念コンサートⅡ」に賭ける意気込みをステージいっぱい魅せてくれました。皆さんからの「ありがとう」の声と、鳴り止まない拍手がそれを物語っていました。そしてこのコンサートはこれまで幾多の高校創立記念式とは全く異なった、「新しい姿と形」を作り出したのではないだろうか。

生徒が自らの手で企画から運営まで執り行った岩高100周年記念は、今後の岩高の発展を確かなものにする素晴らしいものでした。われわれ東都岩高会として、盛大に拍手を送りたいと思います。「ありがとう!!」と。



ミラノオリンピック2026に 駆ける SC 軽井沢クラブから 挑戦し続ける3人の同窓生から熱いメッセージが届きました。

SC 軽井沢クラブは日本カーリング選手権2024年女子チームが、2025年男子チームが日本一になりました。

今年は、2026年ミラノ・コルティナダンペッツォオリンピックを目指し、男女共に挑戦をしています。

上野美優さん

上野結生さん

山本 遵 さん

の同窓生が出場です。

東都岩高会全員で応援を
しましょう。



©SC 軽井沢クラブ 2024-2025



上野美優さん

2019年に岩村田高校を卒業しました上野美優です。私はSC 軽井沢クラブに所属し、高校時代から追いつけている「カーリング競技でのオリンピック出場」を叶えるため、日々練習に取り組んでいます。

現在、私は4人制女子とミックスダブルスの2種目で9月に行われる日本代表決定戦への出場が決まっており、「オリンピック」は私にとって、とても近いところまで来ています。その決定戦で、日本代表の切符を掴むことがその1歩になります。毎日、自分の弱さと向き合うことは簡単なことではなく、辛く不安になることも多いです。しかし、それを乗り越えた先に新しい発見があった時は自分を大きく成長させてくれます。

日本代表決定戦、また2026年のミラノ・コルティナダンペッツォオリンピックまでの残り期間に、最大限自分の出来ることをして、自分史上最高のパフォーマンスを発揮できるように頑張ります。ぜひご注目いただき、温かい応援をよろしくお願いします。



© 軽井沢国際カーリング 2024



上野結生さん

2021年に岩村田高校を卒業しました上野結生です。SC 軽井沢クラブに所属しており、2026年のミラノ・コルティナダンペッツォオリンピック出場を目指して活動しています。

私にとってオリンピックとは、小学生の頃から憧れてきた場であり、多くの感動を与えてくれた素晴らしい舞台です。私の夢は、そのオリンピックという素晴らしい舞台に立ち、皆さまにカーリングやスポーツの楽しさを伝えたり、勇気や希望を与えられるプレーをすることです。

夢を叶える第1歩として、まずは9月に開催される、日本代表決定戦で勝利し、日本代表の切符を掴む必要があります。9月まで残り少ない期間ですが、自分の弱さや課題に真摯に向き合い、練習やトレーニングに励みます。夢に近づくために、カーリングの技術と人間力の向上を目指し、努力し続けますので、応援よろしくお願いいたします。



© 軽井沢国際カーリング 2024



山本 遵 さん

こんにちは。今年岩村田高等学校を卒業しました、SC 軽井沢クラブの山本遵です。

在学していた3年の間には多くの国際大会に出場させていただき、日本選手権では3度の優勝を達成することが出来ました。また、毎年カナダに100日間の長期遠征を行い、本当に多くのものを経験しました。このように私の競技活動をいつも見守って下さり、日本に帰ってきたときにはいつも温かく出迎えてくださった岩村田高等学校に、心より感謝しています。また、文化祭や普段の何気ない高校生活で得た思い出は、どんな時でも自分の心の中にあり、競技においても大きな力になっています。

現在、私たちSC 軽井沢クラブは2026年2月に開催されるミラノ五輪の出場を目指しています。皆様の応援こそが、どんな窮地であっても私たちを奮い立たせる力になります。是非、私たちの夢を共に応援してください。皆様と一緒に素晴らしい舞台へ行けることを目指して頑張ってまいります。



© 軽井沢国際カーリング 2024

2024年

東都岩高会総会&懇親会

母校100周年にふさわしく、

校歌斉唱でスタート!

6月23日(日)

受付開始

11時〜

開 会

11時30分

銀座ライオン7丁目店 6Fクラシックホール

コロナ後2回目となる東都岩高会総会&懇親会は、2024年6月23日(日)に銀座ライオン7丁目店6Fクラシックホールで開かれました。今回新卒生は参加されませんでしたが、母校から、山浦雄介教頭先生、池田義則100周年記念事業事務局長、佐々木正行同窓会長にご出席いただき60人弱の参加となりました。一年ぶりの再会に話も弾み、皆で母校100周年を祝いました。

第一部 土屋泰顧問の司会で100周年にふさわしく、「東信濃の朝明けて♪」と参加者全員による、校歌斉唱からスタートです。ピアノ演奏は、もちろん飯塚美恵子顧問です。小林裕会長の挨拶に続き、寺尾文孝様に、「闇の盾」出版にあたってと題し、政界、財界等のご経験から興味深い講演をいただきました。

例年通り各議案を担当の役員が説明、決議後、来賓よりご挨拶をいただきました。また100周年事業お祝い金を、

東都岩高会として佐々木同窓会長に進上しました。

第二部 井出袈裟衛理事の司会で、金澤清様ご発声による乾杯でスタート。池田義則先生より、100周年記念事業経過報告をいただきました。続いて、同窓生の活動報告・紹介は、スクリーンに紹介記事を映し出し、墨画家 小林三男様、日本画家柳沢正人様、藤原歌劇団オペラ歌手井出司様、ならびに日本大学教授奥山圭一様のご活躍を紹介しました。小林三男様より、今年も風墨画を寄贈いただき、参加者にプレゼントされました。(写真参照)

余興の後は、全員によるオーハッピーデイの輪唱、長谷川允子理事の指揮で学生歌大浅岳を声高らかに歌い大いに盛り上がった後、母校100周年を祝い、元応援団長浦山徹様のリードによる、「フレー! フレー! 岩高」のメールで幕となりました。

今年も総会、懇親会でお会いできるのを楽しみにしております!





講演 寺尾文孝様(右側)
(昭和35年卒業)



小林三男様より
風景画プレゼント



旧中学・新高校6年間の思い出

金澤 清
(昭和27年卒業／神奈川県真鶴町在住)



先般、大塚忠さんから、中学校受験には始まり、その後の旧中・新高校6年間の思い出などの執筆依頼を受けました。今から80年程前のことで、記憶もれや勘違いがあるかも知れませんが、ご容赦ください。

私は、終戦の翌年、昭和21年に岩村田中学校を受験しました。試験は二日間、筆記試験はなく、一日目は国語、算数の口頭試問でした。国語は二行の短い文を読んで、その意味を述べるもの、算数は直方体の図形を見て、体積を求めるもの、筆記用具はなく、暗算で答えた。二日目は、体力検査で、身長・体重の測定と、幅跳びと懸垂があつて、これで試験は終わった。後日、合格発表は、本館の廊下に張り出され、一緒に受験した友達と自分の番号を、それぞれが確認した。

4月から中学生になり、最初は教科書作りからはじまった。新聞紙のような印刷物を配布され、B5版位に折りたたんで裁断するとページ順になり、

各自で綴じて使用した。

校内の印象は、戦時中の名残か、渡り廊下に旋盤や工作機械が置かれていた。飛行機か、グライダーか、大きなプロペラも置かれていた。

校庭の半分位と、中庭、その他の空き地も、食糧不足を補うためか、畑になっており、野菜などが作られていた。やがて校庭の畑も徐々に整備されて来た。部活で、野球部や陸上部が使用出来るようになった。中庭もテニスコートに整備された。

頃ははつきりと覚えていないが、応援歌の練習で上級生から厳しい指導があつたことも思い出として残っている。

校内も段々落ち着いてきて、部活も盛んになり、上級生から入部の勧誘も始まり、私は、バスケット部に入部した。当時、東信地区では、岩高と上田松尾高が強豪と云われていた。

学制改革により、私共は、岩村田高等学校併設中学校となった。その後、

岩高と岩女が合併して、岩村田高等学校となった。男女共学、選択授業が導入され、変革されて来た。

また、こんなこともあった。大相撲の地方巡業が、岩高の校庭が会場となり興行された。その折りに、余興で、お相撲さんと岩村田体協の野球チームの試合があつたり、我がバスケット部とも試合があつた。横綱の照國や大関の増位山など、まだテレビがなかった時代で、間近で接した迫力は物凄かった印象が残っている。

更に、先生に引率されて、たんぼ道を5分ほど歩いて、「キネマ」へ、青春映画を観に連れて行ってもらったことなど、楽しいこともあった。

大学受験については、高2の新学期を迎える頃からはじまった思いがする。勿論、もっと早くから準備していた人もいたが、部活を退部して勉強に専念した人もいた。当時は、塾とか、予備校などはなく、先生の助言はあつても、兎に角、自分で勉強するしかなかった。

体育部員は、国民体育大会に出場することが、当時は夢で、合宿や放課後の猛練習などで、勉強どころではなかった。3年生の九月に県大会の予選で敗退して夢を叶えることが出来ず、後は後輩に託して、それぞれが受験勉強をはじめた。この年、陸上部のC組、



統合当時卒業写真は男女別で撮影（「岩高創立百年誌」より転載）



新緑の浅間高原 油彩 F8号



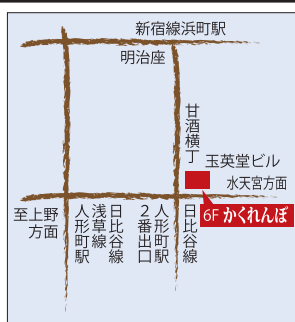
晩秋の浅間高原 油彩 F8号



雪景の浅間高原 油彩 F8号

神津和美君が、やり投げで長野県代表として国民体育大会に出場した。
卒業が近づいて来た頃、謝恩会か、お別れ会か、名目は覚えていないが、岩村田劇場で、リーガル千田・万吉の漫才、霧島昇・松原操の歌謡ショーを聴いて、最後に、学生歌・大浅岳を作曲された小宮山先生のピアノ伴奏で、B組、安田邦子さんが、曲目は忘れてしまったが、美声で唄い上げて宴は終わった。
6年間お世話になった学校とも、いよいよ別れの時が来た。
昭和27年3月18日、大草校長先生から卒業証書を戴き、最後のホームルームの時間に、お世話になった階

段教室で、担任の関口先生から、「頑張れよ」と肩をたたかれ、級友ともお互いの健闘を誓って別れてから、正門で一礼して岩村田の商店街を通過して家路に向かった。
最後に、私事ですが、大学で財務諸表、法人税法などを学び、重電機メーカーに就職して、主に、財務、経理などの携わり、38年間勤務して60歳で定年退職しました。
退職と同時に趣味ではじめた絵画・彫刻など現在も続けて相応に日々過しています。
私の近況と岩高のさらなる発展を祈念して思い出の一端とさせていただきます。



PIANO'S BAR
Kakurenbo
かくれんぼ

毎日がグランドピアノによる演奏(ピアノソロ・弾き語り)で
楽しみながら、お酒と会話とともに一日の疲れを癒す

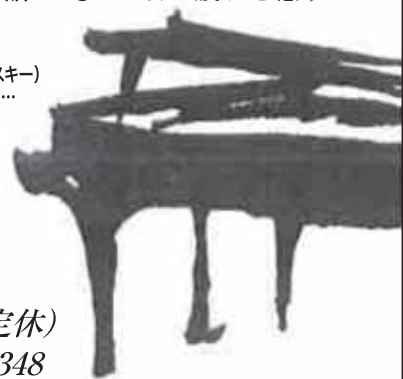
洋酒(特にシングルモルト、国産ウイスキー)
カクテル、ビール、ラム、ノンアル……

柳沢健二郎 (昭和40年卒)

Phone 03-3249-6381

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-3-2 玉英堂ビル6F(日曜定休)

自宅: 〒121-0824 東京都足立区西伊興3-13-12 TEL 090-9807-6348



疎開で戦中に入學して

約一年間在籍

―初めて総会へ出席して佐久を想う―

加藤 段一

(昭和26年卒業/品川区在住)



今回、令和6年東京都岩高会総会に初めて参加しました。会場は銀座7丁目のライオンでよく飲みに来ていた処でしたが、6階のクラシックホールはじめての場所でした。

乾杯の発声をされた金沢清様は、お兄様が書道家で100歳でもいまだ健在との事でした。

また同窓会長の佐々木正行様からも、元佐久市長の神津武士様が98歳で健在との話もありました。身近なところに長生きしている方々がおられることを力強く思いました。

先日、私が所属する東京海上日動のOB会で順天堂大学病院院長の天野篤様から、「75歳を過ぎたら暦年齢ではなく、見た目年齢で良い。」とスローライフの薦めの講演がありました。

私もNHKテレビの番組「ひるまえほっと」の「いいお湯見つめました」から取材協力の依頼があり、実は今年92歳ですがスタッフから「70歳」と云われましたが、見た目年齢で良いと割

り切っています。

総会で講演された「闇の盾」の作家寺尾文孝様から、警視庁に入った年に安保闘争で国会の警備にあたった話がありました。私はその時国会を一周するデモの先頭で、組合旗を持って行進していたことを思い出しました。

またイラストレーターの小林三男様から風墨画の寄贈がありジャンケンで決めるとのことでした。私のテーブルではなかなか決まらず、チョキなしジャンケンになり、私はチョキを出して早々に失格となりました。

校歌、学生歌の斉唱では、多数の応援団員から手さばき入りで盛り上がりしました。その後の飯塚美恵子様の指揮の「オー・ハッピーデー」の輪唱は、ウィーンでの新年を迎える行事の再現のように素晴らしいものでした。

私は総会に参加して本当に良かったと思いました。

総会で配布した席次表では、私はS

26年卒と表示されていましたが、実のところ私は岩村田高校を卒業していません。昭和20年に旧制岩村田中学に一年生として在籍していたことで、その学年が新制高校を経て卒業した年の表示になったものです。

昭和20年3月の東京大空襲で、隣家まで焼失し私の家も一部焼けました。

次は私の家が狙われるとのことで、姉の知人の実家である北佐久郡平根村下平尾の森泉様宅へ縁故疎開しました。

5月に東京の中学から岩村田中学一年に編入しました。戦争末期で本土決戦に備えて、種畜牧場に飛行場建設が始まり、一年生は全員滑走路をつくるための勤労働員をしました。8月15日に完成し、一番機が飛来するとのこと。皆が整列しましたが、私だけは学校に残れと云われ、校長と教頭と私の3人で相生町の電器店の奥座敷で玉音放送を聴きました。学校にラジオがなかったように、埼玉から疎開してきた別の同級生が近くの資産家の家でラジオを聴き、大本営発表などを職員室に伝える伝令役をし

ていたことを後で聴きました。

しかし玉音放送は雑音が酷く、何を話しているのか全く分かりませんでした。

放送が終わって

も校長と教頭は一言も話さずその場に居続けましたが、私は飛行機を見たくて種畜牧場を目指して駆けて行きましたところ、泣きながら帰って来る同級生と出会い、私が飛行機の事を

学生歌(惜別の歌)

作詞 島崎 藤村
作曲 藤江 英輔

一 遠き別れに耐えかねて
この高樓に登るかな
悲しむなわれが友よ
旅の衣をと、のえよ

二 別れといえは昔より
この人の世の常なるを
流る、水をながれば
夢はずかし涙かな

三 君がさやけき目のいろも
君くれないのくちびるも
君がみどりの黒髪も
またいつか見んこの別れ

四 君の行くべきまかわは
落つる涙に見えわかず
袖のしぐれの冬の日に
君に贈らん花もがな



かつての中央大学駿河台キャンパス

尋ねると「日本は負けたのだから飛行機は飛んでこない、君は直接ラジオで聞いたのだろう」と云われました。

その後、8月20日頃始まる秋の授業もなく、9月中旬になって、御代田駅近くの浅間山麓の荒れ地を開墾することので、唐鉄も持って毎日出掛けました。

その後、東京に戻り、明治学院を昭和26年に卒業し、昭和30年に中央大学法学部を卒業しました。両校とも島崎藤村が係わっています。明治学院は藤村自身が学び、校歌は藤村の作詞で、小諸の懐古園の藤村記念館に掲げられています。また中央大学学生歌の「惜別の歌」は元々藤村の「若菜集」の中の詩を一部修正して、中大予科の藤江英輔様が戦時中、軍需工場へ動員されていた学生に赤紙が来て戦地へ赴く先輩学生達との別れを惜しんで作曲したものです。戦後歌謡曲としてヒットして広まりました。

私も毎年8月になると、藤村記念館前の山城旅館に3泊4日の旅を30年ほど続けています。そのたびに岩村田高校と下平尾の疎開先を訪ねています。

岩村田高校の100周年をお祝いし、今回の総会を楽しみにしています。

校歌について

篠原（旧姓伊藤）力雄

（昭和39年卒／栃木県佐野市在住）



私は母校の校歌を歌えません。

何故なら卒業直前に校歌が出来たので覚えていません。それまでは野球試合の応援は三年間学生歌を歌っていました。

1年生の頃から、上田球場で試合に勝利しても校歌斉唱が学生歌だったので、何故校歌がないのかとつねづね不思議に思っていました。

そこで生徒会の役員になって役員会で顧問の佐々木次郎先生に質問したら、佐々木先生は職員会議でも何回も校歌の話が持ち上がったが、そのままたち切れになったと伺いました。

それでも私は更にしつこく佐々木先生とお会いするたびに校歌の話を約半年間言い続けましたら、遂には柔道部の顧問でもあった佐々木先生から見込があるからと思ったのでしょうか、約2週間柔道で鍛えられました。私はその時は自分が生意気過ぎたからのではないかと思ひ至りました。

そこで、担任の田中照作先生（本校S14年卒）に相談しましたら、詰まらないことを考えずにどんどん遣りなさいと激励されましたので、その後も毎回、役員会の度に訴え続け、一方、校内放送では旧中学や旧女学校の校歌を流して新校歌作成への校内の雰囲気盛り上げていきました。

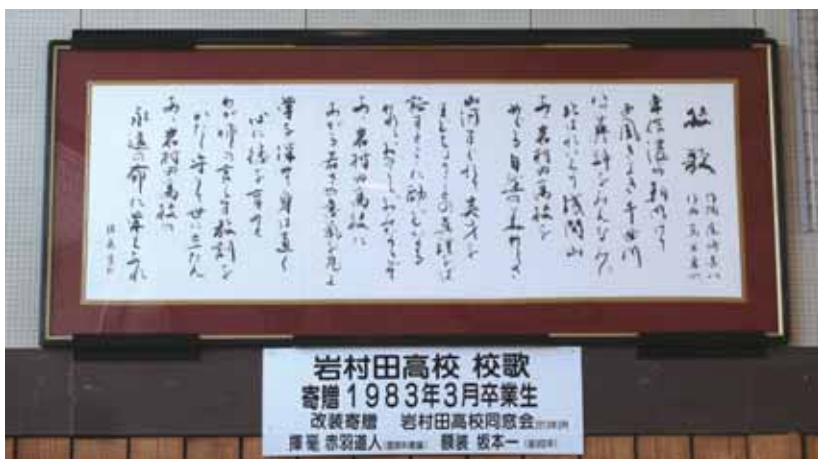
その後、3年生になりある日、学校から今度校歌を作るようになったので、旧役員会のメンバーの話を聴きたいと来校の依頼があり、伺った処、作詞家の尾崎喜八先生と作曲家の高木東六先生がおられて、学校行事や生徒の思い等を聴いて頂きました。

こうして昭和39年3月の私達の卒業式では、出来たばかりの校歌を唄ったようですが、残念ながら私はあまり記憶がありません。

後年、本校校長等を歴任された田中照作先生の小諸市のホテルでの叙勲の

祝賀会の折、田中先生から「君達のお蔭で岩高の校歌が出来た。」と言われた際には、諦めないで訴え続けた成果と嬉しさがこみ上げて来ました。

今後はいつの日にか、甲子園で校歌を斉唱するのを夢見ています。



旧岩中を巡る周一と罌堂との散歩⑦ 創設者・佐藤長洲(寅太郎)翁

について①

田中 伸明
(昭和48年卒業／川口市在住)



〔前号迄の概略〕戦後を代表する知識人のひとりである加藤周一（T8～H20）の半自伝「羊の歌」（岩波新書）の中に、史上最多25回の当選回数「憲政の神様」と言われ、また反軍国主義の軍縮論者であった尾崎罌堂（行雄・安政5～S29）の孫が旧岩中の庭球班の主将をしており、その孫との交流が記述されていた。筆者は罌堂の孫や周一及び罌堂の足跡や周辺を調べて拙文を書いてきたが、数年前から岩高百周年誌の編纂に携わっていたので、前々回は旧岩中の開校迄について、又前回は岩村田の歴史について興味深い事を中心に書いた。

(1) 長野県教育界のトップ

本校創設の佐藤長洲翁（慶應2～昭和18・佐久市長土呂生／農家、長洲は号であるが敬愛を込めて以下「長洲翁」と標記する）と長野師範（現信大教育）を同時期に卒業し、早期に校長を辞して全県を鉱物採集しながら巡り、教育の一言居士として奇矯な名物男の五無齋こと立科出身の保科百助は「佐久的粗暴な言動」と自嘲していた。たぶん当時この見方は本県では一般的であったと思われる。

今から百年以上前の文化的・経済的

に大きく立ち遅れた粗野な佐久の農家の教師が教育県長野で其界の実質第一人者として大正中～昭和初の約20年間君臨し、その後代議士となり国政まで関与した。

今や佐久は県下でも東京に近い等の要因で脚光を浴びているようだが、約百年以上前の時点でそれまで全県の頂点に立った佐久の人材はどの位いたのであろうか？筆者は高校を出て以来佐久を離れた非学・寡聞なので思い浮かばない。まさに佐久の偉人である。

よく組織のある段階ではたとえ些か粗暴でも信頼の置ける聡明な蛮勇が重用されるケースがある。果たして長洲翁はどうであつたろうか？

(2) 教育の期間（添付の年譜ご参照）

その時代官僚でここ迄栄達した人達は元士族で幼い頃より儒学を学んでいたケースが多いが長洲翁の実家は百姓代とはいふものの農家であつた。当時漢学はそれ自体が当時の教養の礎であつた半面、その形而上学（抽象的）

思考が西洋学問の理解のベースになつたと云われる。残念ながら当時の佐久にはそのような学塾は殆どなく、小学校卒業後の長洲翁は遠く群馬新町に赴いて短期間学んでいる。彼は漢詩や墨蹟を好むが筆者にはそれを評価する素養はないが、後年本校創設時に校訓とした「上下和順」、「弟奢虚己従教」等の漢語は一般では中国古典からの引用が多いが見当たらない。どうやら自己の造語のように見える。

長洲の号は群馬新町の修養時代に師の小林穰洲（書家・漢学者・教育家、同地に顕彰碑）より賜つた。洲は師の号から一字を与えられ、長は地元の長野・長土呂から来ているようである。しかし一般的には長州藩を連想され、本人も後年吉田松陰・松下村塾等に好意的に言及している。

遠方の群馬で学ばせた長洲翁の父菊作翁はかなり教育熱心であつたようである。5人の息子を抱え、長男長洲は師範へ行つたが、次男、三男は早稲田へ行き各々保険会社重役と神戸市助役なつている。四男は佐久鉄道（小海線）の重役、五男は海軍機関学校から中佐となつた。息子たちが東京で遊学するために自ら東京茗荷谷付近に長屋を作り自身も時折住んで監督していたようである。

維新後十数年を経て表面上は身分制

度も少なくなった頃（M12～M16）に、田舎の小学校を出たばかりの志を持つた少年が広い世に出る道はどのようなものであつたろうか？中学校は県下に松本の一校のみで上田、長野等はM15に出来た。軍閥に阻まれ陸軍士官学校は入学が難しく、幼年学校も整備されていなかった。彼はそこで陸軍教護団（元々は下士官養成であるが成績によつては士官学校へも進学出来た。M32に廃止）に入ろうと家出したが、跡継ぎとして祖父に連れ戻された。その後、暫く自宅で鬱々としていたが、徴兵令の改訂により長男も兵役が免れなくなり徴兵除けの為、父母の命により止む無く松本師範学校へ入学した。もつとも同校は当時本県で唯一の高等教育機関であり、卒業生は田舎のエリートであつた。

しかし、どうやら彼の軍事への憧れは強くその後、軍人との付き合いや模範演習や戦勝運動会の取組み等を好んでいた。

のちの県職時代に協力して数々の実績を上げた赤星典太知事（慶應4生、熊本／士族、五高、東大、大蔵省等）は明治の初期では本県は政界に地盤がなく進出しても不利であつたので、大政治家となる力量・素質のある人材が、教育界に活躍の場を見つけており、そこに本県の教育県形成の由縁の一つと

創設者：佐藤長洲(寅太郎)翁の年譜

年	年齢	自身の主な出来事	職/舞台	関連する出来事
慶應2	0	現佐久市長土呂の百姓代名主の長男として生まれる	教育	
M6	7	長壽学校入学	岩村田	
M11	13	群馬県高崎市新町：書家・漢学者小林瓊洲・木林瓊洲に学ぶ	高崎	
		この頃、陸軍教導団を志願するも連れ戻される		
M17	19	松本師範(2年次に長野師範と統合)へ入学	松本・長野	
M22	24	師範を卒業し北佐久高等小学校訓導、結婚	教師	
M25	27	本牧村(現望月)小学校の校長	望月	
M29	31	岩村田尋常高等小学校訓導(降格)	岩村田	M27日清戦争
M33	35	同校校長へ		
M34	36	岩村田実科補習学校(後の北農・岩村田女学校)校長を兼務		
		小諸尋常高等小学校校長に転任	小諸	
		この頃、浅間山大登山会・日露戦勝記念御牧ヶ原北佐久運動会等実施		M37日露戦争
M39	41	北佐久教育会長に選任(全国的に初の例)		*小諸義塾廃校
M42	44	小諸義塾の後進の小諸商工学校校長		
M43	45	県視学内務部学務課学務係へ	県職	*師範長野・松本の並立案を潰す
M44	46	信濃教育会副会長を兼務	長野	*県内図書館の社会主義関係焚書
		ロシア沿海州・満州等を視察して海外雄飛に期待		*信毎の殉死疑問視記事を擁護
		県立工業学校(現長野工業)の設立に取組		*旧思想の師範校長排斥
T6	51	県内務部学務課長に昇格		T3第一次世界大戦
		松本高等学校(現信大教養)の誘致に成功		大不況
T7	52	信濃教育会長に当選(以降S10迄7選)		*白樺派(自由)教育抑圧
T9	54	県職を依願退職して衆議院議員当選	代議士	
		この頃、信濃海外協会の設立、一府十県関東教育会	東京	*教員赤化(2.4)事件
		満州大学(後に満州医科大学・旅順工科大)の設立運動		
T10	55	東洋協会朝鮮学生督学部長・台湾学生督学部長への囑託		
T13	58	衆院解散されるも再選されず		*満蒙開拓青少年義勇軍
		岩村田中学設立の事務取扱いを命ぜられる	校長	
T15	60	町立岩村田中学校長	岩村田	
S2	61	岩村田実科女学校長の兼務		S6満州事変
S16	75	岩村田中学が県立となり、校長から顧問へ		太平洋戦争開始
S18	77	永眠		同戦争劣勢に

尚、関連する出来事の方「*」印に関しては追って論述に際し説明の予定。

なっていると云っている。その実例として長洲翁を挙げている。
そこで長洲翁と同世代の本県から一応の名を成したと思われる人々の修業時代について幾つか以下の通り調べた。
・澤柳誠太郎・慶應元、松本/士族、東北大・京大総長、文部次官、成城学

園創設、開智小から高等師範小へ転校。
・藤原銀次郎・M2、長野/問屋、王子製紙の中興、商工相等、14歳で上京して慶應、記者・銀行等を経た末。
・小川平治・M2、諏訪/商家、弁護士、鉄道・司法相等、向学心から何度か家出の末に後の一高、東大法。

・五島慶太・M15、青木村/農、東急グループ創設、上田中から松本中、苦学して代用教員、高師、東大、鉄道省。どうやら経済的な事情もあるが、まず苦勞して上京して更に苦学と修行が待っており、代々勉学で身を立てている士族以外は一層苦難の道のようにである。

似たような境遇で峠を越えた山梨県では後に甲府財閥(東武・阪急・東京電灯等)と呼ばれる程多く人材を輩出している。当然東京・横浜に近いことや相互の連携・団結力や他の要因もあろうが本県との違いは興味深いものである。

●今回は紙面の関係で「(2)」の教育の章」で終わってしまったが、まだまだ書いて置きたいことが随分あるので次号以降にしたい。

特に長洲翁には戦前・戦中体制を体現したような天皇・軍国主義や精神主義があり、また積極的な満蒙等への拡張策は戦後教育を受けた者として違和感がある。安直にそれを現代の価値観で批判することは難しくないが、この場ではまず人物像に迫り、その思想に至った過程を検証しその限界を考察できれば後世に価値あるものとしていたい。

長洲翁はその業績・人格が卓越しているので幾つかの評伝があるが、一部

は客観視を試みてはいるものの殆どが単純な記録と賛美で終わっている。一方小諸義塾廃校に関与していたことから否定的なものもあるようだが、残念ながら今の処筆者の手元には余りない。昭和18年に亡くなり今年で没後82年になる、一方本校も昨年百周年を迎えており、様々なしがらみがなくなっており、同様に資料も散逸しつつある中、客観的に論じる最後の時期かと思ひ筆を執った。

いつの日か本格的に取り組む後進の糧になれば幸いである。

但し、母校創設者といえども史実と良心に沿って客観的に考察しているつもりであるが、異論・ご意見等の批判には謙虚に承りたく存じます。

多くを読んで来たが主な参考資料を以下に記します。新たな資料等ご紹介いただければ幸いです。

・佐藤寅太郎選集・信濃教育会S29
・長洲佐藤寅太郎船影像再建記念誌・長洲佐藤寅太郎船影像再建記念誌編集委員会H2

・月刊「信濃教育」549号佐藤会長頌徳碑記念号・信濃教育会S7↓これは長野の信濃教育会の保存雑誌の両面60枚程のコピーなので、ご希望に沿って配布致します。

“ヤッサン”こと 大井康生さん(昭和27卒、群馬大) 天国に召される

中澤 巖
(昭和28年卒／取手市在住)



東都岩高会役員(会計)を10年間に亘り長期間務めあげ、持ち前のフレンドリーな雰囲気をも何時も発散されておられた大先輩のヤッサンが90歳の天寿を全うされました。

時に2024年12月16日。その旨の連絡を新年1月1日に奥様からの電話で知った次第です……。「慎んでお悔やみ申し上げ、併せてご冥福をお祈り申し上げます。」

ヤッサンは東都岩高会の役員として、長い期間その重責を遂行されました。その功績は賞賛されるものと思います。

私は昭和25年4月、岩高入学とともに籠球部に入学しましたが、その3ヶ月後に陸上部に転入しました。その時が1年先輩の大井さんとの私の出会いの始まりです。私の得意種目は中長距離(1500、5000、10000m)

でヤッサンの得意種目と同じです。先輩でありながらいつのまにやら私はヤッサンと呼んでいましたが「中澤は生意気だ!」とは言われずに、大井さんは私を「ガンちゃん」と呼ぶ優しい人でありましたが、しかし競技ではライバルとなりました。

岩高陸上部は夏休みに一週間の合宿

があります。暑い中の長距離走は過酷です。大学へ進学されたOB各位が参加指導されるので、極めて有意義な機会となりました。その合宿中の夜中にリング狩りがあり先導役はヤッサンでした。そのリングは合宿中の最適な食材となります。

懐かしい思い出は各競技大会に参戦したことです。新潟市白山競技場では北信越陸上競技大会、大町市での高校駅伝大会、伊那市での高校駅伝大会、その他東信競技会等々ヤッサンと参戦した時の思い出がよみがえります。安曇野から又伊那谷での走りながらのアルプスは走行の苦しみも忘れる一瞬の楽しみがありました。

ヤッサン! 追いかける私も既に人生第四コーナー近くにきています。そしてやがてゴールインとなり天国でお会いできると思います。そしてまた、陸上部の先輩各位と駅伝会等で一緒に走りたい……。

ヤッサン待っていてね! ガンより末節になりましたが、奥様はじめご遺族の皆様にあらためてお悔やみ哀悼の誠を捧げます。

合 掌

我家の庭先は道路ではありません

吉田 (旧姓浅川) 寿美子
(昭和33年卒／かすみがうら市在住)

私の住んでいる所は関東平野の一角で終戦後開拓された土地とのことです。この場所に来て何とか通勤出来て、今迄と同じ職場で働く事ができました。

良い事ばかりのように思えますが、左隣の方が班一番のお偉方だったのです。そしてこの班は「協調の里」だとか云うのです。それはそれで良いのですが

右隣の方が左隣のお偉い方へ私の家の庭を通じて毎日一回ご挨拶(と思うんですが)に行くのです。

何しろ私の家を通れば2分位で済むし、通常の道路を通れば10軒位の家の誰かに見られるかも知れないと思ったのでしよう。それで私の家の庭を通ったのでしよう。

時は流れて子供が高等学校へ入学するころとなり、何と偉い方より我が子の方が偏差値の高い高校に入ったのです。

偉い方は「あれは馬鹿でダメ」と云ったのです。自分は優秀だけ……との思いだったと思います。

でも丁度この頃から自分の方が優秀だ



と云う態度はとらなくなりました。右隣の方の子供は我が家の子供より優秀ですが「私は通ったんですよね。どうもすいません」と頭を下げました。この辺の人達は近所の家に行ってお茶飲みはしませんし、買い物では自家用車なので逢いません。

今、私は腰が痛むので毎日の様に病院へ行って腰に電気を当てています。皆様のご健康とご幸福をお祈り致します。

卒業生の皆さまへ 東都岩高会のご案内



ご卒業おめでとうございます。

東都岩高会は岩村田高等学校同窓会の関東地区（一都六県：東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、栃木、茨城）の支部組織で、会員（卒業生全員）の発展に資する為、各種の活動をしております。主な活動は下記の通りですので、気軽に参加して頂きたいとお待ちしております。

①会報の発行と送付先について

- ・年 1 回 5 月頃に送付して総会＆懇親会のご案内や本会の連絡事項及び皆様のご意見・情報・作品の交歓の場となっています。皆様の参加をお待ちしています。
- ・つきましては皆様への**新住所が決まり次第、以下のアドレス(又はQRコード)のHPへ卒業年度、お名前、住所を記入の上、送信願います。**gansou100.jp/touto



②総会＆懇親会について

- ・6月22日(日) 11:00～受付、11:30～ 2.5h 程
- ・場所：銀座ライオン7丁目店 6F クラシックホール
銀座大通りの南側、銀座シックスの隣の写真のようなクラシックな建物
地下鉄銀座線 銀座駅徒歩3分、JR 有楽町駅 徒歩7分、JR 新橋駅徒歩7分
学生(予備校・専門学校・院生含む)は無料ですので、～6/10に申し込んで下さい。
- ・申し込み先：添付したハガキに記入の上郵送(切手不要) tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp
090-7171-8441 田中、080-7021-3097 小林
- ・幅広い年齢の多様な同窓生が集まります。懐かしい友人や教職員との再会や、新たな繋がりへの巡り会いや、勉学・仕事・ときめきの出会いがあります。
- ・講演：柳沢正人様(昭和49年卒・日本画家)
- ・議事は早々に、懇親会では**美味しい料理と生ビール・ワイン(未成年にはノンアルコール等)を堪能しながら、たくさん人達との交流をしながら抽選会や音楽を楽しんでください。**



③相談室のご案内

- ・故郷・肉親から離れて、初めての都会での一人暮らしは何かと心細いこととされます。皆様の抱える問題や悩み事の多くは私達熟年会員が通り過ぎて来たことと重なります。熟年会員の経験・知識・人脈等を活用して親身に皆様の相談に乗り、一緒に考えたいと思います。気軽にお声を掛けて下さい。

◆相談機能

主に i) キャリア・進路相談：ご希望に沿い、そのご希望について知る限りの実態と適性への見解、そのご希望を叶えるには今何をすべきか？どう取り組むべきか？

ii) 生活相談：住宅、パートナー、人生等

◆当面の相談スタッフ

現・元会社員、役員、経営者、税理士、弁理士、ジャーナリスト、元新聞記者、元国家公務員、元地方公務員、元教師等

◆窓口

事務局 田中伸明(副会長、S48年卒) 〒332-0012 埼玉県川口市本町 2-12-20-1001

携帯：090-7171-8441 メールアドレス：tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp 尚、個人情報には守秘致します。

2025年 秋の散策

横浜 国指定名勝 三溪園 と 中華街で本場中華料理を堪能

● ● ● スケジュール ● ● ●

開催日時：11月11日（火曜日）

○横浜駅東口 2番バス乗り場 9：45集合 10：00発（路線バス利用）

・路線バスで「三溪園入口」下車 10：50～12：50 三溪園散策

・路線バスで「中華街入口」下車 14：00～16：00 中華料理を堪能

○解散 16：30 元町・中華街駅（みなとみらい線）

○参加費：¥5,000—（交通費は各自）

○募集期限：9月10日（水曜日） 申込先 tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp



三溪園は、実業家・原三溪によって造られた日本庭園です。

横浜・本牧に広がる175,000㎡の起伏ある地形を持つ園内には、京都や鎌倉などから集められた三重塔や茶室などの歴史的建造物等が巧みに配置されています。季節ごとに表現される木々の姿がこれらの歴史的建造物を際立たせ、古建築と自然が調和した景観を楽しむことができます。



横浜中華街は開港後、西洋人とともに一緒に来た中国人の外商が商売を始め、その後増加する中国人とともに次第に形成されていきました。

現在では、世界最大級の規模を誇る横浜中華街には、約600軒以上の店がひしめいています。

随所で目にする個性的な門は、風水思想に基づいて建てられた「牌楼」。関羽様を商売繁盛の神様として祀った「関帝廟」や、あらゆる神様を祀った「媽祖廟」があります。



(自令和6年1月1日至令和6年12月31日)

令和7年1月19日 会計(48年卒) 岡田 尚

令和6年度の一般会計に関する帳簿、現金預金、証拠書類等について監査を行った結果、上記一般会計は適正にして正確に処理されていることを認める。

令和7年1月19日 監事 (37年卒) 市村 文雄 (印)
監事 (37年卒) 柳澤 孝雄 (印)

(自令和7年1月1日至令和7年12月31日)

令和6年11月24日 会計(48年卒業) 岡田 尚

《注 東都岩高会の会費は、岩村田高校同窓会とは別です》

齊藤 潤	H 6	63 高橋 孝江 司	56 掛川 伸一	55 飯塚 完司	53 服部 和佳穂	中澤 俊一	柳沢 良治	栗橋 澄朋	52 池田 義則	51 井上 隆	新津 正弘	宮田 志子	49 柳澤 正人	田中 伸明	西田 篤実	岡田 尚	佐藤 正継	吉田 則子	富澤 善幸	岩崎 実江子	小林 哲雄	青柳 満男	佐藤 元記	48 中山 郁雄	大塚 忠	小林 裕	井出 洋二	中沢 朝幸	47 細谷 賢	斎藤 仁	小池 喜嗣	46 菊池 美弘	尾沼 卓	45 鷺見 守夫
------	-----	------------	----------	----------	-----------	-------	-------	-------	----------	---------	-------	-------	----------	-------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	----------	------	------	-------	-------	---------	------	-------	----------	------	----------

39 関本 好美	井出 袈裟子	小平 百合子	倉澤 隆司	38 新海 博枝	中嶋 正文	市村 昌弘	小川 節雄	須江 孝雄	37 柳山 孝美	松山 曉二	小寺 駿夫	35 池田 文孝	34 佐野 美子	関根 儀秋	33 東 恭子	32 安藤 千恵子	黒沢 長次郎	梅澤 邦子	秋山 桂一	清水 光男	長谷川 允子	31 飯塚 美恵子	石井 誠央	小林 基子	岡村 浩子	29 中村 博	飯森 邦男	神津 秀雄	28 依田 勝哉	塩川 勉	沢野 仁邦	河野 晴雄	小平 段一	27 金澤 清	26 加藤 武士	19 神津 武士	卒年(昭和)氏名	2024年 寄付納入者
----------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	-------	-------	----------	-------	-------	----------	----------	-------	---------	-----------	--------	-------	-------	-------	--------	-----------	-------	-------	-------	---------	-------	-------	----------	------	-------	-------	-------	---------	----------	----------	----------	----------------

齊藤 潤	H 6	63 高橋 孝江 司	56 掛川 伸一	52 池田 義則	49 宮田 志子	西田 篤実	岡田 尚	吉田 則子	48 柳澤 正人	小川 節雄	井上 隆	細谷 賢	47 池田 義則	尾沼 卓	鷺見 守夫	加川 好	三好 啓子	45 伊藤 教宣	44 荻原 明泰	土村 直幸	市村 昇助	杉里 建	43 花高 三雄	常田 真一	小林 佐子	42 荒井 伸男	小泉 日出男	佐々木 正行	柏木 慶永	田中 克己	荻原 英彦	金沢 和彦	40 39 柳沢 健二 赤沼 久雄
------	-----	------------	----------	----------	----------	-------	------	-------	----------	-------	------	------	----------	------	-------	------	-------	----------	----------	-------	-------	------	----------	-------	-------	----------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------------------

【東都岩高会会費の納入及び賛助寄付のお願い】

東都岩高会の運営、会報発行などの経費は皆さんの会費で成り立っています
明日の東都岩高会を創るために積極的に参加してください

※郵便払込口座：00190-1-544091 加入者名：東都岩高会

東都岩高会の ホームページがあります

- 岩高同窓会のサイドメニューから入れます。
また google 等の検索エンジンから直接「東都岩高会」と入力し検索すると入れます。
- 「総会＆懇親会」等のお知らせ・ご案内、東都岩高会報の閲覧、同会報の送付先の登録も直接出来ます。

ご活用下さい！



夢・感動の花を咲かせたい



第51回北海道バルーンフェスティバル

●総合印刷 ●出版 ●熱気球他体験事業

恵企画
めぐみ

代表 中沢 朝幸
(高24回・昭和47年卒)

〒385-0003 長野県佐久市下平尾1492の8
TEL 0267-68-5433 FAX 67-6900
Email: mgu_sky@ybb.ne.jp

東都岩高会 役員体制案

(2024年7月1日から2年間)

【会 長】	小林 裕(昭和47年卒)
【副 会 長】	荻原 明(総務=44年卒・留任)／大塚 忠(会計=47年卒・留任)／岡田 尚(会計=48年卒・留任) 田中 伸明(総務=48年卒・留任)
【監 事】	市村 文雄(37年卒・留任)／柳澤 孝雄(37年卒・留任)
【理 事】	相澤 正昭(総務=29年卒・留任)／梅澤 邦子(総務=31年卒・留任)／長谷川允子(総務=31年卒・留任) 三戸 和子(広報=33年卒・留任)／小山 駿二(総務=35年卒・留任)／井出袈裟衛(総務=39年卒・留任) 関本 好美(総務=39年卒・留任)／小林 正二(広報=40年卒・留任)／清原 直実(広報=42年卒・留任) 高橋 建(総務=42年卒・留任)／荻原 久男(総務=43年卒・留任)／柳沢 正人(総務=49年卒・新任) 栗橋 澄朋(総務=52年卒・留任)
【学年幹事】	池田たつ子(27年卒)／榎沢 利一(27年卒)／甘利 善市(29年卒)／柳澤 節夫(30年卒) 大澤 繁雄(31年卒)／渡邊 吉則(34年卒)／松山 暁美(35年卒)／角田 和之(36年卒) 勝俣 臣夫(36年卒)／大井 仁(37年卒)／小林 昌弘(37年卒)／須江 節雄(37年卒) 渡辺 弘子(37年卒)／新海 博枝(38年卒)／山崎 浩二(38年卒)／渡辺 善一(39年卒) 青木 茂樹(39年卒)／荻原 英雄(40年卒)／大崎 博(41年卒)／小泉日出男(41年卒) 中澤 眞一(42年卒)／常田 三雄(42年卒)／荒井 伸一(42年卒)／平田 静枝(43年卒) 山浦 一義(43年卒)／石井 正裕(45年卒)／鈴木 則夫(45年卒)／尾沼 卓(45年卒) 岡部 勝(46年卒)／市村 守(46年卒)／井出 洋二(47年卒)／岡部 正武(47年卒) 柳田 泰敬(47年卒)／小林 哲雄(48年卒)／黒澤 公人(49年卒)／宮田志づ子(49年卒) 中澤 俊一(53年卒)／石塚 秀樹(61年卒)
【顧 問】	秋山良治郎(22年卒)／中澤 巖(28年卒)／中村 浩子(29年卒)／生駒 友臣(30年卒) 清水 光男(31年卒)／秋山 桂一(31年卒)／飯塚美恵子(31年卒)／柏木 慶永(40年卒) 土屋 泰(43年卒)
	顧問 大井 康生 様(27年卒)は、令和6年12月16日ご逝去されました。謹んでお知らせ申し上げます。
【名誉顧問】	高橋 和久(23年卒)

東 都 岩 高 会 会 則

第 1 章 総 則

第 1 条 名称

本会は東都岩高会と称する

第 2 条 長野県岩村田高等学校同窓会の下部組織である。

第 3 条 東都岩高会は相互の親睦を図るとともに、健全な会の発展に資することを目的とする。

年 1 回の会員による総会の開催、会報誌の発行及び会に付随した行事等を行う。同窓会本部との連携を密にし、会の発展に努める。

第 4 条 東都岩高会会員資格

長野県岩村田高等学校(旧制中学校、高等女学校)の卒業生であること。

東都岩高会の範囲(1都6県=東京都、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川の各県)

第 2 章 細 則

第 5 条 会の役員構成及び運営

イ 会長 1 名／副会長 5 名以内

会計 2 名／監事 2 名

理事 20 名以内／学年幹事 50 名以内

顧問 (会長経験者もしくは会に貢献があった者で、役員会が承認した者)

名誉顧問 (会に顕著な貢献があった者で、役員会が承認した者)

第 6 条 機関・議決

イ の議決を行う機関として、総会及び役員会を置く

ロ 総会は会員で構成し出席者の多数決をもって議事を決する

ハ 役員会は会長、副会長、会計、監事、理事、学年幹事で構成し、出席者の多数決をもって議事を決する。会長が指名した書記は審議した内容の議事録を作成する

ニ 総会は会長が招集し、毎年 1 回以上開催して次の事項を決議する

- (1) 年度事業報告及び決算報告
- (2) 年度事業計画及び予算
- (3) 改選時の会長の承認
- (4) その他本会の運営に関する事項

第 7 条

イ 役員 選出 会長は役員会が選出する

会長以外の役員は役員会の承認を得て会長が委嘱する

ロ 任期 7 月 1 日から 2 年とする(但し再選を妨げない)

ハ 役員員の分担

会長 会の運営

副会長 会長を補佐する

理事 会長・副会長を補佐し担当の任にあたる

会計担当 予算の立案、会費等の収納管理、金銭の出納、財産管理

総務担当 会の運営・企画進行

広報担当 会報の発行、会の普及宣伝

ニ 年会費 2000 円

ホ 会員は会の定めた方法に従い、会費を納入するものとする

第 8 条

イ 会の運営は会長が主体になって役員会が行う

ロ 会長に不都合が生じた場合は副会長が会長の任務を代行する

ハ 役員改選により会長が交代した時は会則に則り、速やかに諸手続きを行うものとする

ニ 事務局を変更した時も上記「ハ」に準じる

ホ 諸届出、対外交渉等名称は「東都岩高会」を使用する

付 則

会設立 昭和11年(1936年) 3 月10日

この会則は平成14年(2002年) 10 月から施行

改正 平成28年(2016年) 6 月19日から施行

令和 6 年(2024年) 6 月23日から施行

東都岩高会の継続と なお一層の発展を願っています

名刺広告への協賛
ありがとうございました。

神 津 武 士
(昭和19年卒業)

〒385-0021 佐久市長土呂四一八

飯 森 博
(昭和28年卒業)

〒359-0005 所沢市神米金三三八一五 A三〇五
電話 〇四一二九四二一六九六五

中 澤 巖
(昭和28年卒業)

〒302-0022 茨城県取手市本郷五一一一七
電話・FAX 〇二九七七一七三六一九二
E-mail: naiw3419@stlk.jp.alc.or.jp

相 澤 正 昭
(昭和29年卒業)

〒270-1111 我孫子市古戸二五〇一二九
電話 〇九〇一七二四〇一八八八
E-mail: izawamsk@comhome.ne.jp

中 村 浩 子
(昭和29年卒業)

〒338-0837 さいたま市桜区田島四一一三一〇
電話・FAX 〇四八八八六一一七四三
携帯電話 〇九〇一七〇〇二一一四四七

生 駒 友 臣
(昭和30年卒業)

〒168-0064 杉並区永福一四〇一八
電話 〇三一二二二七二七二〇五

仔馬の会 美 恵 明
主宰
(飯塚美恵子・昭和31年卒業)

〒396-0992 埼玉県さいたま市緑区大牧一四八〇一五
電話 〇四八八七四〇一七六 FAX 〇一七七
携帯電話 〇九〇一四三七二一四一三
メール meismie-p.529@kndbgllobe.ne.jp

秋 山 桂 一
(昭和31年卒業)

〒272-0827 千葉県市川市国府台四一六一七
電話 〇四七一三七五一二四五八

清 水 光 男
(昭和31年卒業)

〒178-0025 練馬区大泉町一三二二二四
電話 〇三一二三九二二一七九三九

長谷川 允 子
(昭和31年卒業)

〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台二一八一六
電話 〇四七六一九五一一三一一

三 戸 和 子
(昭和33年卒業)

〒207-0022 東京都東大和市桜が丘三三四一三三三二
桜が丘アパート一四一〇三
電話 〇九〇一七四二一一三三二七

小 山 駿 二
(昭和35年卒業)

〒335-0001 埼玉県巖手市北町一九一三〇一〇五

土 屋 征 江
(昭和35年卒業)

〒124-0022 葛飾区奥戸二一九一三
電話 〇三二六九七一八三五一

松 山 暁 美
(昭和35年卒業)

〒183-0013 府中市小柳町五一八一二二三
電話 〇四二二二六五二四七四五

村 田 和 子
(昭和35年卒業)

〒320-0862 栃木県宇都宮市西原一五一一四
電話 〇九〇一三〇六五二二二三九

市 村 文 雄
(昭和37年卒業)

〒362-0041 上尾市富士見二一六一四
電話 〇四八八七七一一九三二二

柳 澤 孝 雄
(昭和37年卒業)

〒242-0005 神奈川県大和市西鶴間二一五一五
電話 〇四六一二七四一九五六八

東都岩高会の継続と なお一層の発展を願っています

白鳥 和明 (昭和39年卒業) 〒140-0015 品川区西大井五丁目二丁目一 電話 〇八〇-四三三二-二〇〇九	井出 袈裟衛 (昭和39年卒業) 〒251-0861 神奈川県藤沢市大庭五〇七七八 電話 〇四六六-八八八-五五九七	柏木 慶永 (昭和40年卒業) 〒359-1145 所沢市山五〇六三-一四八-一〇二二 電話 〇四二二-九二八-五七七三	小林 正二 (昭和40年卒業) 〒204-0021 清瀬市元町一八七二-二〇一 電話 〇四二二-四九二-三六八	株式会社 佐々木工業 代表取締役 会長 佐々木 正行 (昭和40年卒業) 〒385-0051 長野県佐久市中込三三六八 電話 〇二六七-六七-一八二〇(代)	高橋 建 (昭和42年卒業) 〒365-0064 埼玉県鴻巣市赤見台三三三六-一五 電話 〇九〇-九三一-一八六三〇 Email: ken230518@jcom.zaq.ne.jp
社会福祉法人東京かたばみ会 理事長 荻原 久男 (昭和43年卒業) 〒182-0005 東京都調布市八雲台一五五一 電話 〇四二二-四八四-八五一 FAX 〇四二二-四八四-八四一	土屋泰理士事務所 土屋 泰 (昭和43年卒業) 〒160-0004 新宿区四谷二丁目九 サンサーラ四谷四〇二 電話 〇三三-五三一-五八五一	安川 満 (昭和43年卒業) 〒270-0143 流山市向小金三二二八-一九	東都岩高会の繁栄を願っています 昭和43年3月卒業年次 首都圏在住有志	大聖院 伊藤教宣 (昭和44年卒業) 〒327-0837 佐野市植野町一八五六	商品創造研究工房 おぎはら 荻原 明 (昭和44年卒業) 〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森六二二-一〇 電話 〇四五-七五一-八三八九 E-Mail: akiraogihara@smile.co.ne.jp
小林 裕 (昭和47年卒業) 〒106-0045 東京都港区麻布十番四三三-一〇八一 携帯 〇八〇-七〇二-二三〇九七 E-mail: 724qiece@jcom.zaq.ne.jp	井出 洋二 (昭和47年卒業) 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南一四一-一 GMコーポ二〇四 携帯 〇九〇-四〇一-六五五三	田中 伸明 (昭和48年卒業) 〒332-0012 川口市本町二二二-二〇一-〇〇一 電話 〇九〇-七七一-八四四一 メール tanaka-nsym@ss.dion.ne.jp	中山 郁雄 (昭和48年卒業) 〒135-0043 東京都江東区堀江一四一三-二二九 電話 〇三三-五六三-二二二〇七 携帯 〇八〇-四一六-四七九七 E-mail: nakayama-gyorui@ahoo.co.jp	株式会社 武蔵屋 取締役副社長 小林 哲雄 (昭和48年卒業) 〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮四二九-一 電話 〇四八-六六三-七〇三七 FAX 〇四八-六六七-四一四四	日本画家 柳沢 正人 (昭和49年卒業) 〒157-0072 世田谷区祖師谷四一九-二〇 携帯 〇八〇-四〇〇-八三三八四 E-mail: masatoys8@yahooco.jp

◆2024年～2025年 東都岩高会活動記録◆

◎東都岩高会 △岩高同窓会(本部) ◇長野県高等学校同窓会東京連合会 □東信同窓会連合会

2024年

1月21日 ◎新年役員会 (ばるーん)
1月26日 △新年役員会・懇親会 (かつ栄)
2月3日 ◇新年懇親会 (アルカディア市ヶ谷)
2月24日 △三役会
3月2日 △卒業証書授与式
3月15日 △三役会
3月24日 ◎役員会 (ばるーん)
3月27日 □観桜会
3月29日 ◎女子会 (神楽坂 ルコ)
4月5日 △入学式
4月19日 △4月春季役員会
4月20日 ◎会報第40号発行
4月26日 △三者協議会
5月21日 □総会 (アリスアックアガーデン田町)
5月24日 △三役会
5月26日 ◎役員会 (ばるーん)
6月9日 △三役会
6月15日 △定期総会・講演会・懇親会
6月23日 ◎2024年総会・懇親会 (ライオン銀座七丁目店)
7月6日 ◇定期総会 (アルカディア市ヶ谷)
8月2日 △三役会

9月15日 ◎役員会 (香港屋)
9月22日 △三役会
10月5日 △母校100周年記念式典・コンサートⅡ・記念祝賀会
10月5日 ◎母校100周年ツアー (1泊2日)
10月25日 △三役会
11月7日 □秋季イベント (ランチクルーズ)
11月9日 △100周年記念事業中間報告会
11月24日 ◎役員会 (ばるーん)
2025年
1月19日 ◎新年役員会 (ばるーん)
1月31日 △新年役員会・懇親会 (かつ栄)
2月1日 ◇新年懇親会 (アルカディア市ヶ谷)
2月14日 △三役会
3月1日 △卒業証書授与式
3月22日 ◎役員会 (ルノアル)
3月26日 □観桜会
4月5日 △入学式
4月18日 △4月春季役員会
5月1日 ◎会報第41号発行
6月22日 ◎2025年総会・懇親会 (ライオン銀座七丁目店)
11月11日 ◎2025年秋の散策
(100周年記念事業関連は、ホームページ等をご参照ください。)

■寄稿募集

読むのは楽しい。書いて活字になるのはもっと面白い!!

本誌を会員の皆様の楽しみにしたいと考えています。お気軽に記事の寄稿をお待ちしています。

- ・内 容：一切問わず自由。(但し、他者へ差し障りのある場合は修正させていただきます。)
- ・原稿及び写真：名前、在住地、卒業年度を明記して1,500文字が標準ですが、増減は構いません。ワード等のデータが望ましいですが、手書きに写真添付でも結構です。
尚、顔写真なしの「お薦めスポット」文字数350位も大歓迎です。
- ・締 切：毎年2月末日迄
- ・宛先・問合せ：〒332-0012 川口市本町2-12-20-1001 TEL.090-7171-8441、田中宛
メール.tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp アドレスへデータ送信がベストですが、郵送も結構です。
尚、万が一多すぎた場合、次回以降の掲載へ回ることもありますのでご了承下さい。

対話の先に
あらたな未来を創造する



対話と創造



株式会社パスカル

代表取締役社長 井上 隆 (昭和51年度卒業)
取締役 総務部長 岩下 和真 (平成5年度卒業)
執行役員 営業部長 清水 義昭 (平成5年度卒業) 他 9 名在籍

本社 長野県佐久市猿久保881-8
東京支店 東京都港区芝浦3-17-11 天翔田町ビル 3 階 306 号室